

わかたけ

春日部市立武里小学校
児童数416名(1/9)
平成30年1月9日発行

啐啄同時

校長 高橋 信行



さて、皆さんは「啐啄同時(そったくどうじ)」という禅語を御存知でしょうか。都内の小学校に勤務している私の友人が「座右の銘」としている言葉で、校長室だよりのタイトルとしても使っている言葉です。「啐啄同時」とは……。鶏の雛が卵から産まれる時、内側からくちばしで殻をつついて音を出します。この行為が「啐」です。すると、母鶏はそれに応えるかのように、外側から殻をついばんで割っていきます。それを「啄」と言います。その時、母鶏が「啄」のタイミングを少しでも誤ってしまうと、卵の中の雛は命の危険にさらされてしまいます。だから「啐」と「啄」は同時に行われなければなりません。母鶏は、早すぎないよう遅すぎないよう、感覚を研ぎ澄ませて雛の「啐」を待ち、絶妙のタイミングで「啄」を始めるのです。これは鶏に限らず、例えば師匠と弟子、教師と児童、あるいは親子の関係でも、大いに学んで行くべき大切な言葉です。子どものやる気が十分でない時に、何かを一方向的に押しつけてしまったり、必要でない支援までしてしまったり……。反対に、子どもが興味ややる気を持った時に、忙しいから面倒だからと跳ね返してしまったり……。これではいけません。殻の内側からの雛のサインのような、子どもの内面から湧き出る意欲を決して見逃さず、絶妙のタイミングで子どもの背中を押してあげることができれば、教育効果を最大限に生かすことができるのではないかと思います。以前、大きな病院の待合室で会計を待っている時、中庭の噴水から水が吹き上がるたび、小さな「虹」ができるのが見えていました。そばにいた男の子が大きな声で、「ママ、ママ。凄いよ。見て！見て！」と興奮気味に母親に呼びかけているのですが、携帯電話のメールを打つのに夢中の母親は見向きもしません。小さく舌打ちまでしていました。おそらくこの母親は、この男の子が赤ちゃんだった授乳時にも、頭を撫でながら優しい口調で話しかけることもなく、同じように携帯電話の操作をしていたのではないのでしょうか。これでは、子どもがいくら「啐」を繰り返しても、心そこにあらずの親は「啄」を「同時」にすることはできません。『いるのに、いない』というような“空洞化”した寂しい人間関係は、子どもの豊かな成長には大きな障害となってしまいます。子どもが美しい「虹」を発見して、一生懸命に話しかけてきた時、「本当だ！わあ～、綺麗だね。」と感動を共有してあげていれば、きっとこの男の子は、幸せそうな笑顔で「虹」を見つめ続けたことでしょう。それが、親子の「啐啄同時」なのです。今年も私たち武里小学校の職員一同は、教師と児童の「啐啄同時」をこころがけ、熱意・誠意・創意をもって、『本気』『全力』で教育活動に邁進してまいります。保護者、地域の皆様の御理解・御協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

3学期始めの始業式の際、「今年、武里小の子どもたちには、こうであってほしい。」という、校長としての願いを漢字一文字で表し、『輝』という文字を全校児童に示しました。
この文字は、私が大学でアメフトをやっていた時に出逢い、以来ずっと「座右の銘」としてきた『燃えて輝け』という言葉の中の一文字です。人は時として、言葉に勇気づけられ、言葉から大きな力を得ることがあります。だから、そうした言葉を持っているということがとても大切なんだということを、私の経験や「座右の銘」、そして『輝』という漢字を例に、子どもたちにいろいろと話してみました。武里小の子どもたちが、この『燃えて輝け』や『輝』を、自分自身を奮い立たせることができる素敵な言葉と出逢うまでの、期間限定の「座右の銘」とでもしてくれれば嬉しいのですが。

授業参観・懇談会



11月30日(木)12月1日(金)に、2学期の授業参観・懇談会を行いました。低学年は1、2年生合同で、おもパーティーをして楽しみました。3年生以上の学年も、しっかりと学習に取り組んでいました。お忙しところ御来校頂き、ありがとうございました。

書きぞめ選手練習



1月20日(土)21日(日)に開催される市内書きぞめ展に向けて、3年生から6年生までの代表児童19名が放課後練習を重ねています。皆が集中し、物音ひとつしない教室の中で、子どもたちは一生懸命作品作りに取り組んでいます。冬休み中には、特別講師を招いての練習も行いました。

加湿器稼働中



本年度より、普通教室全15部屋に加湿器を設置しました。インフルエンザ予防の観点からも、加湿器は大活躍をしています。

欠席時の連絡についてのお願い

本校では欠席時、原則として欠席届の提出をお願いしています。やむを得ない場合を除き、電話連絡ではなく、兄弟や近くの児童、通学班長に欠席届を託す等、お願い致します。

第2回学校保健委員会



12月4日(月)に、第2回学校保健委員会(血液講座)を開催しました。当日は、総合の授業と関連し、5年生児童も参加しました。講師に東京女子医科大学名誉教授の溝口秀昭先生をお招きし、血液の働きについて小学生にも分かりやすくお話をいただきました。

わかたけ合唱団



本校では、毎年4年生から6年生までの有志で、「わかたけ合唱団」を結成しています。今年度も、1月27日(土)の合唱祭に向けて、放課後や土曜日に練習を重ねています。学校の正門付近の道路を歩かれている時などに、子どもたちのきれいなハーモニーが聞こえるかもしれません。

どようひろば



12月23日(土)に、放課後子ども教室「わかたけひろば」の「どようひろば」が開催され、もちつきが行われました。多くのボランティアの方々に御協力いただき、子どもたちにとって素晴らしい体験活動となりました。御協力いただきました地域の方々、保護者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。